

国立教育政策研究所指定

平成26年度教育課程指定校事業【国語】



秋田県大仙市立大曲中学校

● 指定校事業の研究課題 ●

「C 読むこと」の領域において、課題解決的な言語活動を通して、生徒が主体的に学習に取り組みながら思考・判断・表現する単元の研究

● 本校の研究主題 ●

よりよい生き方をもとめて自ら学び
共に高め合う生徒の育成
～『学び合い』の充実を図る
指導の研究～

【本校の国語科研究主題】（本研究の研究主題）

生徒が主体的に言語活動に取り組みながら、
『対話』を通して思考・判断・表現する単元構成の工夫

研究の重点

- 1 単元を貫く課題解決的な言語活動の設定
- 2 思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫

2年生

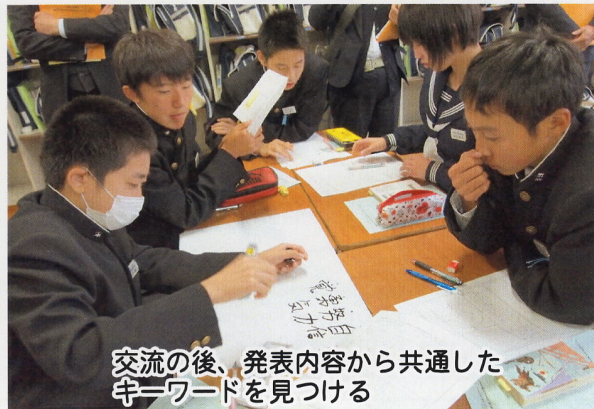
生き方について語ろう

～登場人物の言動について感想をもち、交流する～

◆ 対話の場面



個人の考えを述べ合い交流



交流の後、発表内容から共通したキーワードを見つける

◆ 対話の場面

◆ 個人で考える場面



授業と並行して文庫本の「平家物語」を読み進める



グループ交流を通して新しく気付いたことを全体の場で発表

◆ 発表の場面

3年生

新聞記事から社会を見つめる

～多面的に記事を読み取り、新聞を読むことについて考えよう～

◆ 対話の場面



記事について考えたことを小グループ内で発表



対話が成立するには聞くことも大切

◆ 対話の場面

◆ 個人で考える場面



記事から考えたことを個人で整理



関連記事をスクラップして整理したものを掲示

◆ 教室環境

単元の構想に当たって

付けたい力は何か

単元を貫く課題解決的な言語活動はどんな内容のものであればよいか

評価規準はどうか

学習活動の流れはどうあればよいか

この順番で考えることを徹底し、共通理解を。

1 単元を貫く課題解決的な言語活動の設定

(1) 「単元を貫く課題解決的な言語活動」とは？

- ①生徒自身が単元の初めから終わりまで、「今何を目指して学習しているか」を意識して臨む活動
- ②生徒が主体的に取り組むことができる「課題解決的な学習」が国語における言語活動

(2) 単元構想表の活用

単元名	学習活動
<p>単元名：新聞記事から社会を見つめる ～多面的に記事を読み取り、新聞を読むことについて考えよう～</p> <p>指導事項：ア、ウ、ク、ニ</p>	<p>1 学習のねらいや進め方をつかむ。</p> <p>2 記事の中の明らかな語句や特徴的な表現について調べたり、例文を挙げたりする。</p> <p>3 新聞を読み、1面で記事の一つを選び、その記事の事柄の他の面でも見られているか注意して、関連する記事を集める。</p> <p>4 自分自身の記事や論議、コラムなどについて、見出しや構成、特徴的な表現などについて調べたり、例文を挙げたりする。</p> <p>5 自分で選んだ記事の関連性について考え、記事同士の関係性を踏まえて、集められた記事の関連性について考えたり、例文を挙げたりする。</p> <p>6 記事を読みこんだことを踏まえてレポートを作成する。</p>

指導事項・狙いと評価規準のバランスを見ながら、学習の流れを組み立てていく。この表を使うことで、生徒が主体的に学習に取り組む課題解決的な言語活動を単元全体を通して位置付けることができる。

〔単元を貫く課題解決的な言語活動〕



〔指導事項：重点項目に印〕

(3) 単元名の工夫と今日の課題とゴール

単元名の例

- 新聞記事から社会を見つめる ～多面的に記事を読み取り、新聞を読むことについて考えよう～
- 生き方について語ろう ～登場人物の言動について感想をもち、交流する～

生徒の意欲を高める文言

取り組む言語活動が分かる文言

2 思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫

(1) 国語を通して付けたい力

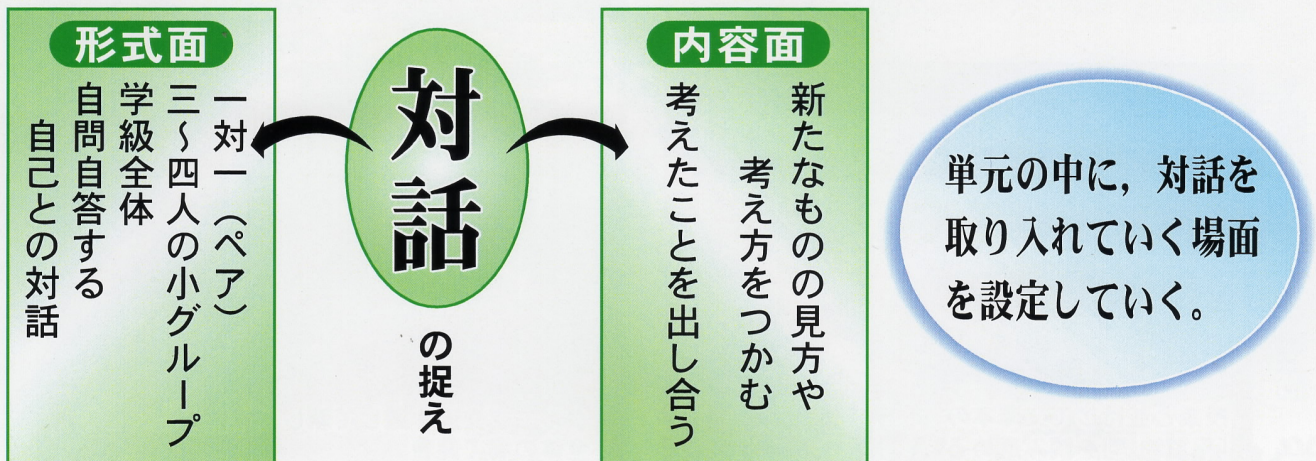


将来の社会生活において

生きて働く力

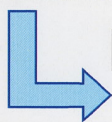
(例) ・新聞を読んで社会情勢を捉え、考えることができる。
・読書に親しんだり様々な情報を得たりして人生を豊かにしていくことができる。
・考えていることを伝える場面でのプレゼンテーションができる。
など。

(2) 対話を取り入れる



(3) 学校図書館と国語の授業の連携

司書教諭と運営支援員によるレファレンスサービス
学校図書館と地域の図書館のつながり



資料の充実＝授業への活用
単元構成の幅が広がる

研究の成果と課題

研究の成果

- ◆ 単元構想表の活用により、単元を貫く課題解決的な言語活動を単元に明確に位置付けられた。
- ◆ 課題とゴールの明示と対話の取り入れにより、生徒の意欲が高まるとともに生徒の思考に深まりや広がりが見られた。
- ◆ 学校図書館との連携により、図書資料等の授業への活用が進み単元構成に広がりが見られた。

研究の課題

- ◆ 個人がグループで得た対話の成果を学級全体で広げたり深めたりするときの教員の関わり
- ◆ 適切な評価の在り方と特に単位時間内におけるCの状況の生徒への手立て

生徒の思考力・判断力・表現力の向上を目指して、今年度の研究の成果と課題を次年度からの単元構成や授業に生かしていきたい。